

水アート

高松

第26号

発行2012年8月



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921

60周年を前にして

高松市上下水道工事業協同組合

理事長 中川 悟



と思いますが、そこにはやはり予算との関係に大きく左右され
て、なかなか厳しいところがございます。

地方中小企業の我々にとりましては、多くの諸問題を抱えた状況下に立たされながらも企業存続を一途に更なる隘路を見つけ出し、一歩一歩の努力を余儀なくされているのが実情であり、人間社会生活維持のため安全な水と空気を安定的に提供するといふ、いわゆる日常生活を営む上でのライフラインを守る不偏の責務を負う社会的使命があります。

我々ローカルを中心とする経営者の判断基準は、物事は【本質】

を【長期的】に【多面的に見る】ことを常に求められております。この言葉にあやかり、いつ発生するか分からぬ「問題や変化」が起きた時に正しい対応をする為にも、この見方を常に身につけておくことが肝要かと思います。その窮屈の一環として、高松市上下水道局と組合、組合と組合員によるタテ・ヨコの連携を密に、そして協調・結束をして適正なルールを遵守した取り組みが何よりもまして重要なかと思念しております。

勿論、組合員各位の経営努力が必要ですが、我々同志【共助努力】を年頭に置き、組合員84名、賛助会員19名、計103名を乗せた船「高松市上下水道丸」が一人の落伍者もなく厳しい荒波を乗り越え、全員が来年の記念すべき60周年の年を迎えることを願う次第です。

このような背景の中、景気回復に向け政府が内需拡大に、あの手この手と策を講じておりますものの、実行に乏しく今なお不明な状況下にあると考えます。

一方、大局的には今回の震災の関係で被災地の復興工事は勿論のこと、今後各地方に於いても耐震関連工事の増加は予想される

就任に当たつての御挨拶

高松市上下水道工事業管理者 石垣 佳邦

本年4月1日付けで高松市上下水道事業管理者に就任いたしました石垣でございます。

高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、日ごろから、本市上下水道の普及推進と維持管理はもとより、上下水道事業運営各般にわたり、格別の御尽力と御支援をいただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

本市では、窓口の一元化などお客さまサービスの向上と効率的な事業運営、水行政の一体的な推進、更には東南海・南海地震に備えた危機管理体制の充実・強化を図るため、昨年4月に上下水道の組織統合を行い、新たに「上下水道局」としてスタートしたところでございまして、組織統合の効果を最大限に發揮しながら、公営企業として、一層の経営の効率化と健全化に取り組むことにより、お客さまから信頼され、将来に向けて持続可能な事業運営を目指してまいりたいと存じております。

このようなことから、今後10年間を見通した上下水道事業の目指すべき姿や経営理念、基本方針、実施方策等を一体的か

つ総合的に取りまとめた中長期の経営計画となる「高松市上下水道事業基本計画(仮称)」を、本年9月末を目途に策定していることといたしておりますが、今後、老朽化した管路の大量更新や施設の耐震化を始め、地震等自然災害時に際しての迅速で効率的な初動・復旧体制の確立、鉛製給水管の早期解消などを取り組むべき諸課題が山積しております。



就任に当たつての御挨拶

高松市上下水道局長 多田 弘二



本年4月1日付けで高松市上下水道事業局長を拝命いたしました多田でございます。

高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長様を始め、役員ならびに組合員の皆様方には、常日ごろから本市上下水道事業に対しまして、格別の御理解と御協力をいただいておりますとともに、市民生活と社会経済活動を支える重要なライフルインである上下水道の各種工事を通じて、本市の公衆衛生の向上に日夜尽力され、多大な貢献をいただいておりますことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

本市の水道事業では、昨年3月に策定しました、平成42年度までを計画期間とする「水道施設整備事業基本計画に基づき、老朽化した大量の施設等の計画的な改修・更新や東南海・南海地震に備えた水道施設の耐震化を進める」と一方、昨年実施したお客様アンケートにおいて、お客様サービスの重要課題であります鉛製給水管助成制度をご存じない方が役75%と非常に多かったことから、従来の広報に加え、検針票への記載や未解消世帯への個別通知等、きめ細やかな周知・啓発の徹底に努め、早期解消に取り組むことといたしております。

また、下水道事業では、現在、下水道計画区域の○辺地域におきまして、家屋の密集度や合併処理浄化槽の整備状況等を調査しており、その調査結果等に基づき、適切な整備構想を策定する必要がありますことから、調査結果を踏まえ、現在の非常に厳しい財政状況や費用対効果を勘案する中で、今後策定されるコンパクト・エコシティ推進計画との整合を図りながら、下水道計画区域の見直しや合併処理浄化槽の普及促進など、効率的な汚水処理の推進方策について、補助制度の見直しを含め、検討することとしております。

いずれにいたしましても、厳しい経営環境の中で、水道水源の確保や東南海・南海地震に備えた上下水道施設の耐震化、さらには公共下水道や合併処理浄化槽の普及促進、中心市街地の浸水対策等の重要諸課題に対し、総合メリットを生かし、組織一丸となつて取り組んでまいりたいと存じますので、貴組合におかれましても一層の御理解、御協力を賜わりますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、貴組合のますますの御発展と組合員皆様方の御健勝を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合

顧問 三笠 輝彦



残暑がひとしお身にこたえる毎日ですが、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、皆様方には、市民だれもが安心して生活できる水環境を創造するため、上下水道施設の近代化・効率化を始め、日々、専門知識・技術の研鑽を重ねられ、事業経営の強化等に積極的に取り組まれておりますこと、厚く御礼申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、近年、全国各地において大規模な地震や、豪雨災害などにより甚大な被害が発生しており、去る6月19日には、台風4号が日本列島を縦断し、各地につめ跡を残したことは、まだ皆様の記憶に新しいことと存じます。今後、発生が確実視される東南海・南海地震に備えるためにも、常日頃から私たち一人一人が一人が、災害はめったに起こらないという認識を改め、いつ起きてもおかしくないという危機管理意識を高めていくことから始めていかなければならぬと

思ひます。

最後になりましたが、高松市上下水道工事業協同組合のまますますの御発展と、皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

私たちは普段何気なく水を使い、毎日、安全に供給され当たり前と思っておりますが、水道事業では、既存施設の老朽化や水源汚染問題、地震や台風等の災害、渇水への対応などの諸課題を抱え、大きな転換期を迎えております。私たちの生命に直結するライフラインの危機管理対策強化の観点からも、高松市上下水道工事業協同組合の果たす役割は、今後、ますます重要となつてまいります。

記念祝賀会

青年部会 部会長 高尾 雄一

去る7月6日(金)、ロイヤルパークホテルにおきまして「青年部会創立10周年記念祝賀会」を開催させていただきました。

祝賀会には、高松市上下水道局より上下水道事業管理者の石垣 佳邦様、親会の顧問でいらっしゃいます三笠輝彦様をはじめ多くの方に御臨席いたしました。当日お越しいただいた皆様にこの場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

この『周年事業』に関しては、およそ1年前の役員会において「これまで支えていただいた方々のためにやろう」と役員全員の意見が一致したため企画をスタートさせましたが、当然のことながら全員がこういった事業に取り組むこと自体初めてのことであり「やろう」とは言つたものの具体的なものにしていくことの大変さを思い知らされました。しかし当日、中川理事長に頂戴した御祝辞での青年部会に対する最上級の

お褒めの言葉で「(周年事業を)やつて良かった!」と思うことができました。また当日、皆様からのお祝いのお言葉・御芳志をいただき、益々青年部会の活動を盛り上げていかなくては、との思いを部会員一同強くしたことと思いますので、今後も御指導・御鞭撻のほど宜しくお願ひいたします。



ご相談は地域に密着した安心な指定水道工事店へ

毎月第1・第3土曜日 午前9時～午後4時

お電話でも相談できます。

広告

水道・下水道無料相談実施中!

水道に関する色々な「トラブル」も安心してお気軽にご相談ください。

各地域の水道のプロが迅速に対応させていただきます。

修繕工事および器具取替・上下水道引込工事

水道局助成鉛管取替工事・浄化槽工事

受水槽工事および清掃

下水切替工事

高松市民の水を守り続けて60年

高松市上下水道指定工事店組合84社



高松市上下水道工事業 協同組合 TEL.087-831-5633

高松旧市内68社 / 高松東部(庵治・牟礼)4社 / 高松南部(塩江・香川・香南)4社 / 高松西部(国分寺)8社

高松
赤十字病院

高松市
上下水道局 ● 中央公園

香川県庁

高松市上下水道
工事業協同組合

広報たかまつ 9月1日号 掲載予定

賛助会員紹介

福祉と水まわり

TOTO四国販売株式会社

松本 一平



私は主に福祉機器や介護関連の商材をメインに仕事をさせて頂いております。当然のことながらトイレやお風呂などの水まわりの仕事もさせて頂いております。

そんな日々の仕事をしていく中で、忘れられない出来事が有りました。

2年前、ある福祉機器展でバストリフト（入浴補助の福祉用具）の商品説明をしていたときに、特に熱心に話しを聴いて下さる高齢の女性がいらっしゃいました。その方は、足が悪く現在も吊り下げ式のリフトを利用して入浴しているが、吊り下げられることにどうしても抵抗があるとのことで、そうでないバスリフトをとても気に入ってくれたご様子でした。そして、たくさんの感謝の言葉を頂きました。

「私たちは荷物ではないんよ」と、泣きながら話されていたことが特に印象に残りました。

この経験は私にとって、「水」や「水まわり商品」は生きていく為、豊かな生活を支える為だけでなく、人間の尊厳を守る為にも重要であるということの気付きとなりました。そして、この仕事に携わっていることに対して誇りを持ち、より身が引き締まる思いになりました。

このときの気持ちを忘れずに、市民の方々へより良い生活環境が提供できるように、日々努力していきたいと思いります。

末席ながら、高松市上下水道工事業協同組合の皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げると共に、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

水を大切に

関西水栓株式会社 英 芳憲

組合員の皆様には、日頃より格別のお引き立てを賜わりまして、厚く御礼申し上げます。

毎日の暮らしの中で当たり前のように使っている水。身近にありすぎて水の大切さやありがたみというものを忘れがちになっているようになります。水道設備の充実により、水の入手といふのはとても簡単になっています。水不足に悩まされやすい香川県に住んでいても、渴水や給水制限にならなければ節水をしようと思う人は少ないのでしょうか。

もしも、水道が使えなくなってしまったら、人々の生活は成り立たなくなってしまいます。雨水や川の水を利用すればいいのでしょうか、そのままでは飲料水としては使えません。また、お風呂やトイレといった設備も簡単に使用できなくなります。このように、私たちの生活は、水が当たり前に供給されることに慣れすぎてしまつており、水の大切さというものをあまり考えられなくなっていると思います。

その都度川本ポンプでは、水道工事に携わる皆様のご意見等をいただきながら、より良い製品をより早く提供できるよう製品開発をしてまいりました。ポンプ材質では、鋳鉄からナイロンコーティング、そしてステンレスの時代となりました。川本ポンプでは当所よりポンプの剛性を考慮しステンレス铸物を採用して参りました。省エネルギー製品としてはインバータ搭載の自動給水ユニットを開発いたしました。今では省エネルギーで錆の発生しない静かなポンプユニットが当たり前の時代となりました。これらの製品には現場の事をいちばんご存知の上下水道工事会社様のご意見ご要望が反映されていると思います。これからも新製品開発や改良に皆様のご要望ご意見を取り入れていきたいと思いま

ポンプの返還

株式会社川本製作所 高松営業所

浜崎 三紀夫



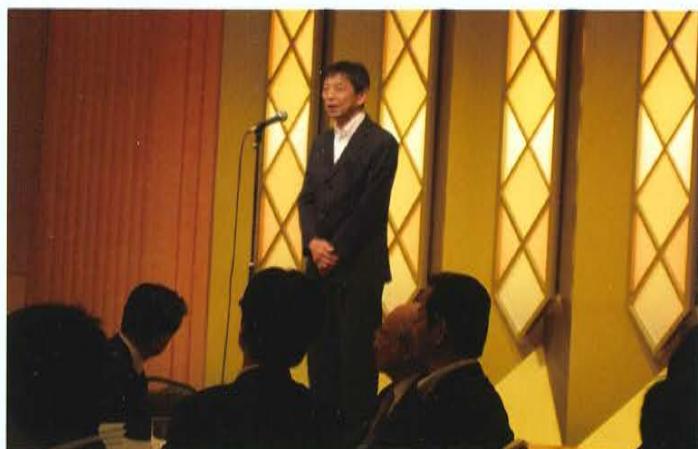
平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

川本ポンプは「大切な水をあなたに」を企業スローガンに、これまでいろいろな分野のポンプで社会に貢献してまいりました。

特にビルの給水設備に用いられる給水ポンプユニットは、かつては「蛇口をひねれば水が出る程度の要求から、赤水防止・静音性・省エネルギー・小型化等の様々な要望が出されてまいりました。その都度川本ポンプでは、水道工事に携わる皆様のご意見等をいただきながら、より良い製品をより早く提供できるよう製品開発をしてまいりました。ポンプ材質では、鋳鉄からナイロンコーティング、そしてステンレスの時代となりました。川本ポンプでは当所よりポンプの剛性を考慮しステンレス铸物を採用して参りました。省エネルギー製品としてはインバータ搭載の自動給水ユニットを開発いたしました。今では省エネルギーで錆の発生しない静かなポンプユニットが当たり前の時代となりました。これらの製品には現場の事をいちばんご存知の上下水道工事会社様のご意見ご要望が反映されていると思います。これからも新製品開発や改良に皆様のご要望ご意見を取り入れていきたいと思いま

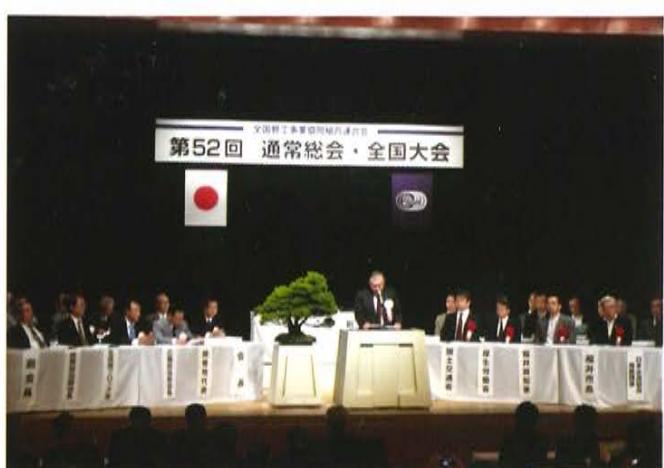
通常総会

5月23日

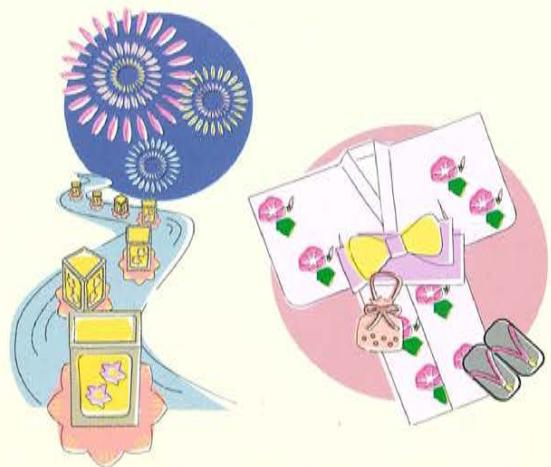


全管連 全国大会

6月13日



第54回 水道週間
第15回夕ぐれコンサート&花火大会
6月2日





すこし前、「トイレの神様」という歌が流行りました。その歌詞を聞きながら、思い出すのは中学校のトイレ掃除でした。私は郡部の出身、当然汲み取り便所でした。掃除用具と言えばバケツとホーキに棒すりタワシで、当番が当たったときは食欲もなくなるほどでした。

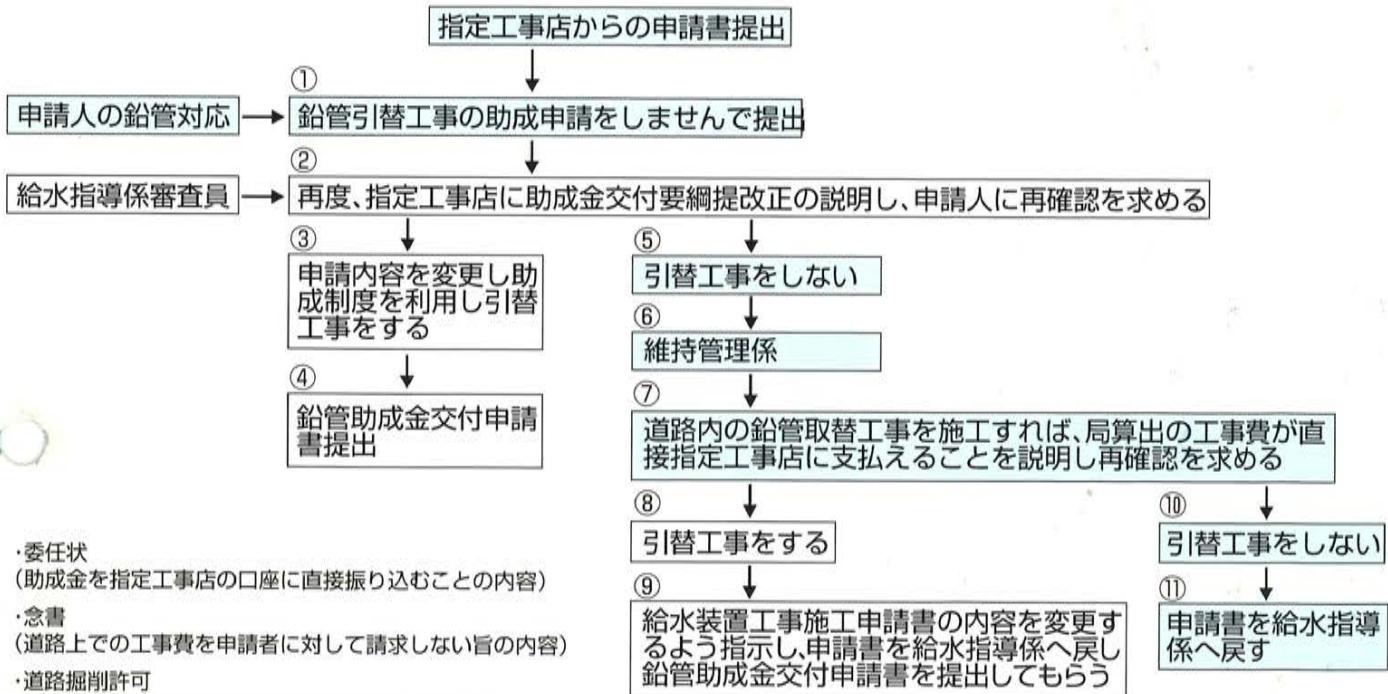
その後、水洗トイレが普及し、トイレのイメージも革新的に変化し、その掃除風景もずいぶんと変わりました。さまざまな掃除用具が工夫され、各メーカーともに快適な掃除風景をイメージし、この歌が流れる時にはトイレクリーナー一枚で最後にはトイレにポイッと流せるようになっていました。

我が家では使い古しのタオル雑巾と歯ブラシで掃除をしています。娘が大学に入り一人暮らしをする時、我が家 の掃除方法を伝授したところトイレだけはきれいにしてました。

最近、「子供に素手でトイレを掃除させる取り組み」という報道が話題になりましたが、トイレがきれいになることを身近に感じることは、この歌をきっかけに見直せたのではないかでしょうか。

ちなみに、我が家も素手ですが、衛生上は、ゴム手袋をおすすめします。

給水装置工事施工申請書提出からの鉛管対策対応



平成23年度高松市上下水道工事業協同組合・会議

第一回理事会

開催日時/平成24年5月1日(火)

11時32分～

開催場所/組合事務所 2階会議室

出席役員/17名

議案/(1)平成23年度決算並びに第59回通常総会について

(2)報告事項・委員会報告・その他

第59回通常総会

開催日時/平成24年5月23日(水)

16時30分～

開催場所/JRホテルクレメント高松 3階

組合員数/出席者…76名

本人出席…57名

委任状出席…19名

第二回理事会

開催日時/平成24年7月18日(水)

16時30分～

開催場所/組合事務所 2階会議室

出席役員/11名

議案/(1)組合として広報たかまつ(9/1号)に掲載する件について

(2)報告事項・委員会報告・その他